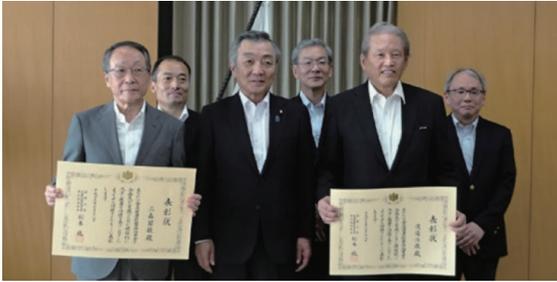


● 食品健康影響評価事業等功労者大臣表彰



前列：(左より)三森国敏氏、松本純 元大臣、渡邊治雄氏 後列：事務局職員
[小泉直子氏はご欠席]

食品安全委員会では、食品の安全に関し、食品健康影響評価事業等の推進に特に顕著な貢献をした方の功績を讃えるため、食品安全担当大臣による表彰制度を新しく設けました。

2017年7月28日に、松本元食品安全担当大臣ご出席の下、以下の方々が第1回の受賞者として表彰されました。

- 三森国敏氏 (東京農工大学名誉教授)
- 渡邊治雄氏 (国際医療福祉大学大学院教授)
- 小泉直子氏 (兵庫医科大学名誉教授)

● こども霞が関見学デー

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとした府省庁等が連携して、業務説明や省内見学等を行うことにより、親子の触れ合いを深め、子供たちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的とした取組です。

食品安全委員会では、初めて消費者庁と連携し、小学生と中学生を対象に「食品と生活の安全について学ぼう!」をテーマに2017年8月3日に開催しました。「ゲームで学ぶノロウイルス感染症予防」というプログラムで、ノロウイルスとは何か、どうしたら感染を防ぐことができるのかを、ゲームを使って学んでいただきました。



2017年度 こども霞が関見学デー <http://www.caa.go.jp/notice/event/children/2017/>

● 学会のブース展示



食品安全委員会では、食品の安全性に関する科学的な知識を普及させるためには学術団体との連携が効果的であることから、関係する学会への参加及びブース展示を実施しています。2017年度は、一層の連携強化を図るため、

- ①ブース展示をする学会においては、食品安全委員会の委員の講演やポスター発表を実施するとともに、
- ②学会の参加者が食品安全委員会のブース展示に興味を持てるよう、学会ごとの専門性に合わせた展示を実施しました。

さらに、2018年1月に開催された日本毒性病理学会では、初となる学会と共催した市民公開講座を実施しました。

学 会 名	委員の講演・ポスター発表	その他
日本毒性学会(7/10~12)	佐藤委員長 講演「食品安全とリスク評価」	
日本先天異常学会(8/26~28)	吉田(緑)委員 講演「食品中化学物質の毒性評価において毒性学的専門性を総合的に考察する重要性と生殖毒性学への期待」	
日本食品微生物学会(10/5・6)	山本委員 講演「食品安全委員会の現状と今後」	
日本毒性病理学会(1/25・26)	吉田(緑)委員 ポスター発表「ベンチマークドーズ(BMD)法を適用した化学物質の毒性評価において適切な毒性病理所見をエンドポイントとして選択するために毒性病理学者が注意すべき点」	共催で市民公開講座を実施(吉田(緑)委員) 講演「カフェインについて」